

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟  
会長 星野 克美

## 『EUにおける電力分野のサイバーセキュリティ対策実態調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。  
本連盟ではこの度、東京電力ホールディングス株式会社 常務執行役 関 知道 氏に  
団長としてお引き受け賜り、電力分野のサイバーセキュリティ対策について、EU諸国の  
実態を調査致します。

昨今、社会全体においてサイバー攻撃の脅威が高まっており、海外ではサイバー攻撃による大規模停電が発生するなど、国内の電気事業においてもサイバー攻撃への対策が求められています。今後さらに高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対処していくためには、事業者間で脅威情報等を共有し、適切かつ迅速に対応できるような仕組みを構築していくことが不可欠であるとの認識のもと、電気事業者間のサイバーセキュリティに関する情報共有・分析を行うため、電気事業連合会の中に昨年「電力ISAC (JE-ISAC : Japan Electricity Information Sharing and Analysis Center)」が設立されました。

社会のデジタル化が進む中、電力を始めとした重要インフラの安全な維持管理・運営において、サイバーセキュリティ対策が益々重要な課題となっております。

本年1月、安倍総理はバルト3国（エストニア、ラトビア、リトアニア）を訪問されましたが、特にエストニアはサイバー分野での取組が進んでおり、ラタス首相と安倍総理は『エストニアに所在するNATOサイバー防衛協力センターへの日本の参加が承認されたことを機会にサイバー・IT分野での日本とエストニアとの協力関係を進めていくこと』で一致されました。

そこで今回、エストニア、英国、ドイツ、フランスのサイバーセキュリティ対策の動向、経営システム、法務体制などを調査するため、関係諸機関、発電所などの施設を訪問し、現地関係者との相互ディスカッションを行いたいと計画しております。

趣旨・調査項目等につきましては別添の参加要項をご覧頂き、参加についてご検討賜りますようお願い申し上げます。

また本調査にあたり、ご希望される質問事項について、ご意見ご助言を下記事務局までお寄せ下さい。

ご参加頂ける場合は、最終ページに必要事項をご記入の上、一般社団法人日本技術者連盟あてFAX (03-6229-1940) またはメール ([gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)) にて平成30年4月10日(火)までにお申込み下さいます様、お願い申し上げます。

敬具



一般社団法人日本技術者連盟  
〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F  
TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940  
E-mail : [gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)  
URL : <http://www.jef-site.or.jp>  
URL : [www.wkx21c.org](http://www.wkx21c.org)

# 『EUにおける電力分野のサイバーセキュリティ対策実態調査団』

## 参加要項

1. テーマ : 『EUにおける電力分野のサイバーセキュリティ対策実態調査団』
2. 期間 : 2018年5月13日(日)～5月20日(日) (8日間)
3. 主催 : 一般社団法人 日本技術者連盟 (J E F)
4. 団 長 : 関 知道氏 東京電力ホールディングス株式会社 常務執行役  
IoT 担当 システム企画室長 博士 (工学)

### ■ 職 歴



昭和61年4月 東京電力ホールディングス株式会社入社  
平成21年7月 同社技術開発研究所エネルギー経済グループマネージャー  
平成23年10月 同社千葉支店支店長付  
平成24年6月 同社企画部総括調整グループ  
平成25年6月 同社経営改革本部事務局次長兼企画部総括調整グループ  
平成25年7月 同社経営改革本部事務局次長兼企画部  
平成26年6月 同社経営企画本部事務局次長  
平成27年7月 同社経営企画ユニット企画室次長  
平成28年4月 同社常務執行役 IoT 担当 (現)

### 5. 趣 旨 :

昨今、社会全体においてサイバー攻撃の脅威が高まっており、海外ではサイバー攻撃による大規模停電が発生するなど、国内の電気事業においてもサイバー攻撃への対策が求められています。社会のデジタル化が進む中、電力を始めとした重要インフラの安全な維持管理・運営において、サイバーセキュリティ対策が益々重要な課題となっております。

そこで今回、安倍総理がご訪問されたエストニアを始め英国、ドイツ、フランスのサイバーセキュリティ対策の動向、経営システム、法務体制などを調査するため、関係諸機関、発電所などの施設を訪問し、現地関係者との相互ディスカッションを行いたいと計画しております。

### 6. 調査項目 :

- ① 電力制御システムのサイバーセキュリティガイドラインの実効性確保と位置づけの明確化
- ② 電力制御システムや情報システムのセキュリティとしての具体的な取組み  
(セキュリティポリシー、技術対策、人的・組織的対策、運用対策、監査の在り方など)
- ③ サイバーセキュリティにおける電力事業者と国との関わり、特にサイバーテロや国家の社会システムに対する攻撃に対する役割分担
- ④ IoT機器や分散電源等の新たなデバイス、従来の電力会社が管理しない機器からの脅威に対する対策や情報の共有手法
- ⑤ 過去に発生した自家用電気工作物や一般用電気工作物に対するサイバー攻撃の事例について、またこれらの法的枠組みなどについて
- ⑥ その他

7. 訪問先及び概要：※下記より選出。訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

1) イギリス政府エネルギー・気候変動省 (DECC – Department Energy & Climate Change)

エネルギーと環境問題に関する政策を実行する政府機関。セキュリティに関する政策を他の省と連携しながら決定している。電力システムのサイバーセキュリティの規制、ガイドラインの制度及び情報共有の枠組み、監査の体制などについて意見交換。

2) NATOサイバー防衛協力センター

タリン (エストニア共和国)

NATO Cooperative Cyber Defense Centre of Excellence

北大西洋条約機構 (NATO) サイバー防衛協力センターでの関係者との日本のサイバーセキュリティ分野における意見交換。

ヤーン・プリッサル氏 (エストニア) (ご依頼予定)

サイバー犯罪者や高度なサイバー攻撃に対応してきた15年以上の実務経験から、重要インフラや情報資産の防衛の分野の世界的権威。また、同氏は、エストニア共和国のサイバーディフェンスユニットの副司令官。エストニア最大の銀行で、ITリスクマネージメントのリーダーを務め2007年にエストニアに向けて実行されたサイバー攻撃への対応において、重要な役割を果たした。又、新興テクノロジー企業数社でCTO(最高技術責任者)およびエンジニアを歴任。タリン工科大学とフランスのトゥールーズにあるポール・サバティエ工科大学で修士号を取得、公認情報システム監査人(CISA)の資格を所持。2014年にはエストニア共和国大統領からホワイトスター勲章を受章現在Priisalu氏は、「NATO Cooperative Cyber Defense Centre of Excellence」で、技術演習を企画した先導者のひとり。

3) 情報セキュリティ庁 (BSI – Bundesamt für Sicherheit in der Informationstechnik)

ドイツの連邦政府においてコンピュータと通信セキュリティ担当部門であったが、近年重要インフラや一般企業に対するセキュリティについて担当。

4) Renardieres EDF R&D site (ルナルディエール EDF R&D サイト)

原子力関係以外に、蓄電、電燈、スマートグリッド、産業規模の冷却&暖房等の技術も扱っている施設。

その他、候補

\* 欧州エネルギー 情報共有・分析センター EE-ISAC とのMeeting

(The European Energy- Information Sharing & Analysis Centre)

EE-ISACは、欧州内のエネルギー業界におけるエンドユーザー、システムベンダーなどの業界関係者からなるセキュリティに関する情報共有・分析センターである。2015年発足の自主枠組み。会員数約20社。ベンダーや研究機関も会員となる一方、これまでのところ電力会社の参加は極めて限定的。

8. 募集人員：15名 (最少催行人数10名)

9. 参加費： ¥980,000- (税別)

※催行人数10名に満たない場合及び日程その他変更が生じた場合には、参加費に変更がありますことを、あらかじめご了承下さい。

※現地からご参加ご希望される場合には、総合事務局までお問い合わせ下さい。

10. 通訳者：ベテラン適任者

11. 添乗員：添乗員は全行程同行いたします。

12. ホテル：一人部屋

13. 旅行主催：万達旅運株式会社ワンダートラベル

14. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

(〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL: 03-6229-1950)

15. お申込方法：下記に必要事項記入の上、**2018年4月10日(火)まで**にFAX (03-6229-1940)

又はE-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にてお申込下さい。

16. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : http://www.jef-site.or.jp

URL : www.wkx21c.org

# 『EUにおける電力分野のサイバーセキュリティ対策実態調査団』

2018年5月13日(日)～5月20日(日) (8日間)

## 日 程 表

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	5/13 (日)	成田(NRT)発 アムステルダム(AMS) 着 アムステルダム(AMS) 発 ロンドン(LHR)着	KL-862  KL-1023	10:30  15:10  17:15  17:35	KLMオランダ航空にてロンドンへ     ロンドン泊	機内食
2	5/14 (月)	ロンドン滞在  ロンドン(LHR)発 フランクフルト(FRA)着 フランクフルト(FRA)発 タリン(TLL)着	専用車  LH-915  LH-884	終日  17:30  20:05  21:00  00:15+1	DEEC(Department Energy & Climate Change) 訪問    ルフトハンザ航空にてフランクフルト経由タリンへ   タリン泊	朝○ 昼○ 夕○
3	5/15 (火)	タリン滞在	専用車	終日	NATOサイバー防衛協力センター (エストニア国家サイバーセキュリティ調査)  タリン泊	朝○ 昼○ 夕○
4	5/16 (水)	タリン滞在 タリン(TLL)発 フランクフルト(FRA)着 フランクフルト(FRA)発 デュッセルドルフ (DUS)着	LH-881  LH-082	午前  13:50  15:15  16:20  17:10	自由研修    デュッセルドルフへ移動   デュッセルドルフ泊	朝○ 昼X 夕○
5	5/17 (木)	ボン  デュッセルドルフ (DUS)発 パリ(CDG)着	専用車  AF-1007	終日  20:35  21:50	BSI Bundesamt für Sicherheit in der Informationstechnik 訪問   パリへ移動  パリ泊	朝○ 昼○ 夕○
6	5/18 (金)	パリ滞在	専用車 片道 ≒90km ≒1h15min	終日	Renardieres EDF R&D site 訪問   パリ泊	朝○ 昼○ 夕○
7	5/19 (土)	パリ(CDG)発 アムステルダム(AMS) 着 アムステルダム(AMS) 発	KL-1230  KL-861	10:15  11:35  14:40	KLMオランダ航空にて帰国の途へ	朝○ 昼X
8	5/20 (日)	成田(NRT)着		8:40		機内食

\*上記日程記載の訪問先は、訪問予定先で、これからのアポイント状況により変更になる場合があります。

\*上記記載の訪問国の順序は企画段階の順番で、アポイントの都合により訪問順序が変更になる場合があります。

\*上記日程記載の、航空便は予定便で実施時に発着空港、利用便が変更になる場合があります。

\*日本との時差 : エストニア(-6時間) パリ/ボン(-7時間) ロンドン(-8時間)

## 参加費に含まれるもの

### I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、添乗員、通訳(一部同行)費用

### II) 現地諸機関折衝及び手配料

- ・ 現地手配費用
- ・ 打合せ会/現地配布資料代他
- ・ 現地事前打合せ出張諸費用

### III) 企画・運營業務費

- ・ 企画運営費

## その他

- ・ 参加費は、2018年2月14日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したものです。ご出発前に参加人員に変更のあった場合には、参加費用が変更になる場合もございますので予め、ご了承下さい。
- ・ 尚、お申込み後、諸般の事情でご参加をお取り消しされる場合につきましては、**運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。**

## 参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

## 取り消し料金

- ◎旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで : 費用の50%
- ・ 実施日当日の取り消しは、**全額申し受けず**。
- ◎諸般の事情でご参加をお取り消しされる場合につきましては、**企画・運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。**詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

## 一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人日本プライバシー認証機構 会長/ 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	内藤 香	公益財団法人核物質管理センター 前理事長/ 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph. D.
	森 和義	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
監事	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

## 一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

### 『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木 宜彦	元一般財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆	元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	荒井 利治	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長
	宅間 正夫	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎	一般財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学)
	小川 順子	東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長
	金氏 顯	前一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事
	河原 暉	元一般社団法人日本原子力学会 会長
	佐川 渉	前一般社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士
	関村 直人	東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士
	多田 伸雄	一般社団法人日本電機工業会 原子力部長
	尾野 昌之	電気事業連合会 原子力部長
	新田 隆司	元 日本原子力発電株式会社 常務取締役
	藤井 靖彦	東京工業大学名誉教授 工学博士
	宮野 廣	特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 工学博士
	諸葛 宗男	科学技術コンシェルジュ/NPO法人パブリック・アウトリーチ (PONPO)/ 元 東京大学公共政策大学院 特任教授

### 『国際原子力発電機器・部品コンソーシアム』委員会

委員長	篤見 禎彦	元関西電力株式会社 代表取締役副社長 元日本原子力発電株式会社 代表取締役社長
委員	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 主席研究員
	尾本 彰	東京工業大学 特任教授 工学博士
	諸葛 宗男	科学技術コンシェルジュ NPO法人パブリック・アウトリーチ(PONPO) 上席研究員 元東京大学公共政策大学院 特任教授 元公益財団法人核物質管理センター理事長 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
	内藤 香	
顧問	佐々木 宜彦	一般社団法人日本技術者連盟 国際原子力発電技術移転機構 委員長 元通商産業省原子力安全・保安院 院長 元通商産業省資源エネルギー庁 長官 元一般財団法人経済産業調査会 理事長 NPO法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 工学博士
	野々内 隆	元東京電力株式会社 代表取締役副社長 工学博士 元一般財団法人日本原子力文化財団 理事長 理学博士
	宮野 廣	
	榎本 聰明	
	秋元 勇巳	
	ワザンバー 窪田 秀雄	日本テピア株式会社 テピア総合研究所 主席研究員

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation (JEF))

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 / 03-6229-1950

※ お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又はE-mail: gyomu1@jef-site.or.jpでお送り下さい。

# 『EUにおける電力分野のサイバーセキュリティ対策実態調査団』 参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

□ 訪問先に持参する資料 有 (内容: ) 無

フリガナ		 <p>メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●4cm×3cm</li> <li>●脱帽・正面・背景無地</li> <li>●パスポート顔写真の スキャンコピーでも可</li> </ul>				
会社名・団体名						
英文名						
所属名/役職名						
フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日
参加者氏名		学位				
パスポート記載名 (ローマ字)		携帯電話番号				
E-mail						
勤務先	〒	ご住所				
		電話番号		FAX番号		
ご自宅	〒	ご住所				
		電話番号		FAX番号		
フリガナ						
担当責任者名						印
所属名/役職名						
電話番号/E-mail						
旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)						
① はい	<input type="checkbox"/>	旅券番号:		有効期限: 西暦	年	月 日
② いいえ	<input type="checkbox"/>	現在申請中	<input type="checkbox"/>	旅券の作成代行を依頼する。(有料)	<input type="checkbox"/>	自分で申請・取得する
喫煙の習慣		有・無		マイレージをお持ち の方は番号を記載して 下さい		
通信欄 (ご質問・ご希望 等お書き下さい)						

## 個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

## 1.個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

## 2.個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

## ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合は、

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3.個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

## 企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail: [gyomu1@jef-site.or.jp](mailto:gyomu1@jef-site.or.jp)

## 総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950 FAX: 03-6229-1940

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル (担当: 梶山 満)

TEL: 03-5157-2207 FAX: 03-5157-2208